

たかふくしさ2号の子 トップセールス記録

ホクレン南北海道市場8月において 高橋義浩さん 生産

7月31日、8月1日にかけて行われましたホクレン南北海道市場におきまして、高橋義浩さんが生産した高福忠号が1,348,920円(税込)で去勢の素牛の中で見事トップセールスを記録しました。本牛の母は平成31年1月末時点において全道で最もサシの入りやすい子牛を生産できる牛となっていた、たかふくしさ2号であり、(現時点では全道3位)父は血統の古い牛ではあったものの、やはり、母の非常に高い評価を表す結果となりました。また、種雄牛候補として(株)ジェネティクス北海道も見に来ており、舌が白いとのことで泣く泣く購入できなかったという経緯のある牛です。

たかふくしさ2号は、分娩した子牛の大半が雄であり、後継牛が欲しいところでしたが、10月に見事雌の子牛を分娩したので、繁殖用に自家保留する予定となっています。娘牛はこれで3頭となり、全て高橋さんのところで飼養されています。

8月市場では去勢で上位3頭すべてが静内の牛という結果になり、平均購買価格も非常に高値となりました。その背景としまして、7月市場から新たな購買者の方が静内の牛を気に入り、優先的に買って頂いている状況があります。しずない和牛生産改良組合としても、静内の素牛は健康で発育が良く、どれを買っても間違いのないと言われるよう、日々研鑽に努めておりますので、応援よろしくをお願いします。



黒毛和牛素牛 市場販売成績 (令和1年8月市場~10月市場)

9月市場こそ平均価格が下がりましたが、10月市場では再び静内の素牛が去勢の素牛の中でトップセールスを記録しました。消費税の増税の影響も少ないよう高値安定です。

※取引結果については、安平町・ホクレン南北海道市場でのもの。
(取引価格は税込み)

開催月		販売頭数(頭)	販売金額(円)	平均価格(円)
8月	去勢	44	38,912,400	884,373
	めす	22	16,399,800	745,445
	小計	66	55,312,200	838,064
9月	去勢	36	28,387,800	788,550
	めす	36	25,424,280	706,230
	小計	72	53,812,080	747,390
10月	去勢	33	29,169,800	883,933
	めす	35	25,265,900	721,883
	小計	68	54,435,700	800,525